

● 休館日 ■ 夜間開館
○ 展示替のため1階・2階とも閉室

	日	月	火	水	木	金	土
4							1 2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
5	24	25	26	27	28	29	30
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
6	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
	1	2	3	4			
	5	6	7	8	9	10	11
7	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
	31						
8	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
9	28	29	30	31			
	1	2	3				
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
10	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
11	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
	1	2	3	4	5	6	7
12	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
1	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
2	29	30	31				
	1	2	3	4			
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
3	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29			
	1	2	3				
	4	5	6	7	8	9	10
4	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

企画展

I 「新」 収蔵品展

【美術】4/ 2[土] - 6/19[日]

【歴史】5/14[土] - 6/19[日]

三岸好太郎《狐塚風景》【美術】、《東海道西海道図巻》【歴史】など新たに収蔵した資料を初公開。

【観覧無料】

II 第33回 豊橋美術展

【絵画・彫刻・デザイン】4/26[火] - 5/1[日]

【写真・書道】5/ 3[火] - 5/8[日]

東三河の作家による日本画・洋画・彫刻・デザイン・写真・書道の合同選抜作品展。

【観覧無料】

III カンヴァスに描かれた女性たち

5/21[土] - 7/10[日]

ポーランド・ワルシャワのヨハネ・パウロⅡ世美術館所蔵作品より精選した61点を展観。ヴァン・ダイク、レンブラント、ゴヤ、ブーグローらの手になる「カンヴァスに描かれた女性たち」を紹介し、女性像の変遷をたどります。

【観覧料】一般・大学生 1,000 (800)円 / 小・中・高生 400 (300)円

IV 夏休み企画「素材の冒険」

7/1[金] - 8/28[日]

収蔵資料の中から、特徴的な素材を使った作品を一堂に展示し、ワークショップやギャラリートークを通じてそれぞれの素材の魅力や効果、さらにその可能性について、わかりやすく紹介します。

【観覧無料】

V 三遠南信文化交流展「黄金の世紀」

9/3[土] - 10/16[日]

三遠南信エリアの古墳出土品を比較展示するほか、豊橋市内にある馬越長火塚古墳から出土した副葬品を紹介します。また、国宝・重要文化財を含む国内の優れた金銅装製品をあわせて展示し、古墳時代の黄金文化をたどります。

【観覧料】一般・大学生 800 (600)円 / 小・中・高生 400 (300)円

VI 第61回 豊橋市民展

【写真・書道】10/25[火] - 10/30[日]

【絵画・彫刻・デザイン】11/ 1[火] - 11/ 6[日]

東三河に在住・在職の方を対象とした一般公募展。

出品申込・作品搬入は10/8[土]・9[日]。

【観覧無料】

VII 郷土画人展II 「渡辺小華とその時代」

10/29[土] - 12/4[日]

渡辺華山の次男・小華は、明治初期に豊橋関屋の百花園に居住し、多くの画人・文人と交流をもちました。本展では小華の作品を中心に、同時代に活躍した画家たちの作品を紹介します。

【観覧料】一般・大学生 500 (400)円 / 小・中・高生 300 (200)円

VIII 第5回 トリエナーレ豊橋 星野眞吾賞展 - 明日の日本画を求めて -

11/11[金] - 12/11[日]

豊橋出身の日本画家・星野眞吾からの寄附を発端に開設し、創造的な制作活動を行う新進作家の発掘と顕彰を目的として、3年に一度開催する日本画の全国公募展。

【観覧無料】

IX 収蔵品展「平川敏夫と大森運夫」

2/11[土] - 3/18[日]

平川敏夫(1924-2006)と大森運夫(1917-)は、青年時代から交流があり、ともに「創画会」の重鎮として活躍し、すぐれた作品を残しています。郷土ゆかりの両作家の作品を取り上げ、各時代を比較しながら収蔵品でたどります。

【観覧無料】

*観覧料の()内は、前売または20名以上の団体料金です。

*展示会の名称・会期・内容等は変更となる場合があります。



Ⅰ 三岸好太郎《狐塚風景》
1923年



Ⅲ ジャン＝マルク・ナティエ
《花の神フローラに扮する女性》
1753年



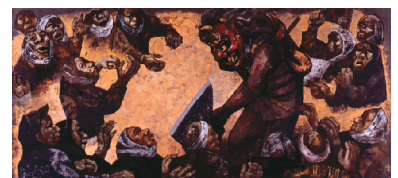
Ⅳ 味岡伸太郎《東浜田地質調査16-1》
1994年



Ⅶ 《馬越長火塚古墳出土棘葉形杏葉》
6世紀末



Ⅷ 渡辺小華《蔬果園》
1874年



Ⅸ 大森運夫《冬の夜神楽》
1974年